

脳神経外科 「[正常圧水頭症外来](#)」での診断治療のご紹介

高齢者の方で最近

- ・ 歩行が少しずつ悪くなった(開脚歩行)
- ・ 不安定でよく転んだりする
- ・ 頻尿や尿失禁が始まった
- ・ 物忘れが進行した
- ・ 注意力や集中力も下がりやる気がなく好きな事も手が付かない
- ・ 表情が緩慢で声が小さくなった等

の症状が知らず知らずのうちに進んでいる方がいらっしゃると思います。

そして、これらの症状が、「[そういえば一年前はなかったのになあ!!](#)」と感じている方、ご家族の方々へ。

実はこの歩行障害・認知機能低下・自立活力低下・排泄障害は「[特発性正常圧水頭症](#)」という病気の事が多くあります。この病気は脳の中の髄液吸収障害によりその流れが淀み、脳室という水袋が拡大し様々な症状を起こす病気です。この病気は認知症の 10%を占めますが、脳神経外科医や神経内科医以外は関心が薄いため発見されない事が多いのです。また介護施設入所中の 5%以上の方にこの疾患の方がいると言われています。

そしてこの疾患の最大の特徴は、この疾患は手術で治る可能性が高い認知症であるということです。

当院脳神経外科では、特発性正常圧水頭症患者様の発見に努め、正確に診断・手術治療・リハビリ・またその後の生活ケアも含めて集学治療を行っております。

手術は髄液を主に背中から腹腔に流す 1 時間程度で終わる LP シャントを原則実施します。手術治療効果は個人差がありますが、歩行障害は 80%・認知関連症状は 60%(認知症が併合の場合は別です)・排尿障害は 50%の改善が望めます。

「[そういえば一年の前は!!!](#)」がキーワードです。

上記症状があり気になる方、そしてご家族、介護施設の方、一度毎月第一土曜日の「正常圧水頭症専門外来」をお尋ねください。平日は脳神経外科外来でも随時受付、診療を行っております。

高齢化社会の今、患者様の生活の質が少しでも向上し、楽しい生活を送れるためのお手伝いが出来ればと思います。